

た よ り



〒518-0814 伊賀市上友生785番地

TEL&FAX; 0595 (21) 8839

URL: <http://www.iga.ed.jp/igaken>E-mail: iga-ken@iga.ed.jp

長丁場の2学期、お疲れさまでした♪

8月29日(月)から始まった80日間(授業日)に及び2学期も、いよいよ明日終業式を迎えます。

本学期も新型コロナウイルス感染拡大防止に細心の注意を払いながら、日々の授業、学校行事や校外学習などの実施に向けて大変なご尽力をいただきました。学校訪問や研究発表会で学びの様子を参観したり、学校だより・ホームページ等を拝見したりする中で、大きく成長する子どもたちの様子を実感することができました。本当にお疲れさまでした。コロナ禍であっても、教職員が状況をしっかりと把握し、その上で知恵を出し合い、学校として組織的な取組を継続することで、教育活動が充実し、子どもたちの安心・安全も確保されたのだと改めて感じています。

一方で、揺れを見せた子どもや、なかなか落ち着かなかった学級や学年もあったことだと思います。今一度その要因や背景にあるものを全教職員で共有するとともに手立てを具体化することが大事だと思います。1月10日(火)には、新年を迎え、「新たな気持ちで頑張るぞ!」という思いや願いを持って子どもたちが登校してきます。その思いや願いに応えられるようにしたいですね。

24日から冬季休業に入ります。2学期全力で突っ走ってこられた疲れを癒し、十分に休養いただくとともに、2023年、そして3学期、子どもたちも教職員も笑顔でスタートできますように準備をよろしくお祈いします。卒業や進路、進級に向けてとても重要な日々となる3学期を大切にしていきたいですね。



ほかほかの焼き芋ができたよ♪ ~ふれあい教室~



12月7日(水)、プール横のふれあい農園で育てたさつま芋を使って、焼き芋を作りました。今年はたくさん収穫することができませんでしたが、自分たちで育てたものを味わうということは子どもたちにとって大きな喜びになったことだと思います。

事務室にも届けていただき、私たちもおいしくいただきました。

成和西小学校公開研究授業(12/7)に参加して♪

～「デジタルアーカイブ」を活用～

成和西小学校では、昨年度より地域のデジタルアーカイブを活用し、教科横断的な教材作成及び授業デザインを開発する取組を進めてこられました。12月7日(水)、その研究に基づく実践発表がありました。

私は、3限目から参加しましたが、3限目の公開授業や4限目の懇談会で学んだことを紹介します。

①公開授業の概要

◇学 年 第6学年(国語科)

◇指導者 成城学園初等学校 教諭 宮田 論志さん

◇目 標 服部半蔵が徳川家康の伊賀越えに尽力して信頼を獲得し、現在に至るまでその名が残っていることを知り、伊賀への愛着と誇りを深める。

◇学んだこと

- ・ 授業を参観し、デジタルアーカイブを活用する授業の基盤も、私たちがめざす授業づくりにあることを改めて学びました。
- ・ 公開授業では、一人ひとりが「忍者の〇〇」というテーマを立てて調べてきたことをGoogle スライドにまとめ、そのシートをもとに共有する場面、「MIDOKORO CUBE」に示された資料から服部半蔵が徳川家康と関わりがあったことをつかむ場面が設定されていました。共有する場面では、子どもたちが調べたことから子どもたちが考えたいめあてを立て、子どもたちが主体的に学べるように手立てがなされていました。「MIDOKORO CUBE」に示された資料から考える場面でも、資料をもとに多面的・多角的に考えるしかけが意図的に組み込まれ、子どもたちの考えを深めていくことにつながっていました。また、難しい史資料については、易しく作り直し、子どもたちに提示していました。子どもたちは、その資料をタブレット端末で拡大したり何度も読み返したりするとともに、ラインを引きながら、服部半蔵が徳川家康と深い関わりがあったことをつかんでいきました。
- ・ デジタルアーカイブを始めとする資料をどう子どもたちに与えていくか、そこには教師のしかけが重要になります。めあてが子ども主体になるように、資料をもとに深い学びが展開されるように、地域のことを学ぶことを通して地域に誇りを持てるように・・・という視点が明確に組み込まれた授業でした。改めて、教材研究の重要性を認識しました。
- ・ 6月の研究発表会でも6年生の授業を参観しましたが、5ヶ月経ち、子どもたちの学ぶ意欲や中身は「深化」していました。各自がテーマを設定し、「忍者の〇〇」を調べてまとめる活動では、着眼点が多岐にわたり各自のカラーを出していること、「書籍・図鑑」「デジタルアーカイブ」「現地へ行く」など多様な調べ方をしていること、調べたことを1枚のシートに写真や考えを加え工夫しまとめていること、伝えたいことを明確にした発表内容で聞き手にもわかりやすいことなど、日々の学習を積み上げられていることを随所に感じました。私たちが日々めざす授業づくりを基盤にし、タブレット端末やデジタルアーカイブを学びの一つのツールにしていました。そのツールを効果的に活用し、深い学びにつなげる・・・このスタンスは6月の発表からしっかりとつながっていました。

②懇談会で学んだこと・話し合われたこと

◇学校教育におけるデジタルアーカイブの利活用の可能性・・・

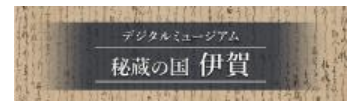
- ・子どもの意欲や探求心の喚起。
- ・個の興味関心の受け皿。多様な調べ方につながる。
- ・情報リテラシーの育成。
- ・多面的多角的視野の育成。
- ・主体的で対話的な学び、探求的な学び。
- ・地域共有の財産を学ぶ。



⇒そのためには教師の支援が必要。どう支援していくかが重要。教師の支援によってねらいに迫っていく、史資料と子どもの考えをつなぐ。

◇デジタルアーカイブを活用した授業実践を多くの学校へ広げていく・・・

- ・「伊賀市：デジタルミュージアム秘蔵の国 伊賀」を作成したが、どれだけの教職員の方が知っているのか。まずは教職員の方々に知ってほしい。



⇒伊賀市ホームページにバナーがあるのでぜひ見てください。

「マイクロカットオフィスシュレッダ」を設置！



12月1日（木）の校（園）長会議でお知らせがあったと思いますが、12月5日（月）、当センターに「マイクロカットオフィスシュレッダ」を設置しました。紙類の裁断に加え、CD/DVD・SSD・CARD・USBメモリーの裁断が可能です。事務室隣の印刷室に置きましたので、CD等の処分にぜひご利用ください。その際は事務室までお声がけください。

12月29日(木)～1月3日(火)は休館です♪

2学期もたくさんの方々当センターを利用いただきました。来館された皆さんが、事務室に気軽に声をかけていただくことがとても楽しみでもありました。

12月29日（木）から1月3日（火）まで休館となります。来年もよろしくお祈いします。よいお年をお迎えください。



雑感：ここ最近大きな話題となったのが、ワールドカップの日本代表戦でした。1試合ごとに一喜一憂し、勇気と感動をもらいました。ニュースで大きく報じられたのが、試合後のロッカールームやスタンドの様子でした。「スタンドで応援していた日本サポーターは、ただ応援に行くだけでなく、対戦相手やピッチ上の選手、環境、後片付けをする人たちに敬意を払い、21世紀のサッカーファンとしてのあるべき姿を全世界に示した…」「悔しい敗戦となったが、そのゲーム後、国際サッカー連盟の日本語版公式ツイッターが画像を投稿。写真には、綺麗に清掃された試合後のロッカールームが写っている。さらに、机の上には大小さまざまな折り鶴が置かれていた。また日本語で『ありがとう』と書かれたメッセージボードも、折り鶴のそばに添えられている。グループステージから継続していた“ロッカールーム清掃と折り鶴”による感謝の表明を、敗退後も変わることなく実行したのだ。」…何度も読み返しました。3学期、学校・園でも多くの感動を！